

## 平成24年度 第3回北海道地方独立行政法人評価委員会 会議結果

### 1 開催日時

平成24年11月2日(金) 16:00~16:15

### 2 開催場所

道庁本庁舎9階職員監会議室

### 3 出席者

#### 【委員】

舟橋 健市 委員長 (公認会計士)  
石橋 憲一 副委員長 (国立大学法人帯広畜産大学 名誉教授)  
太田 明子 委員 (太田明子ビジネス工房 代表)  
和田 健夫 委員 (国立大学法人小樽商科大学 副学長)  
安達 陽子 委員 (一般社団法人中小企業診断協会北海道 常任理事(中小企業診断士))  
北野 邦尋 委員 (公益財団法人北海道科学技術総合振興センター  
地域イノベーション戦略推進室チーフ・コーディネータ)  
旗本 智之 委員 (国立大学法人小樽商科大学 大学院商学研究科  
アントレプレナーシップ専攻教授)  
細川 修 委員 (一般社団法人北海道中小企業家同友会 専務理事)

#### 【欠席委員】

田中 繁道 委員 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 院長)  
谷山 弘行 委員 (学校法人酪農学園 酪農学園大学 学長)

#### 【事務局(総務部法人局大学法人室/総合政策部科学IT振興局研究法人室)】

《大学法人室》高田室長 糸氏参事 佐々木主査 横山主任  
《研究法人室》川手参事 戸田主幹 関上主査 谷主任 後藤主任

### 4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 議 事
  - ① 北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標に対する意見について
  - ② その他
- (3) 閉 会

### 5 会議開催概要

#### 開 会

#### 【事務局】

- ただ今から、「平成24年度第3回北海道地方独立行政法人評価委員会」を開催いたします。開催に先立ち、本日の評価委員会の進行について、お手元の次第に沿って、ご説明いたします。
- 本日は、「北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標に対する意見」について、ご審議していただきます。
- なお、本日、公立大学部会の田中委員及び谷山委員につきましては、ご都合により欠席となっております。
- それでは議事に入りますが、これからの進行につきましては、舟橋委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### 【舟橋委員長】

- 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日の議事は1項目でございます。それでは、早速議事に入りますが、本日は、札幌医科大学の次期中期目標について審議を行います。素案については、既に説明を受けているところですが、素案からの修正事項などについて事務局から説明を受け、委員の皆様からのご意見等をいただきながら、審議を行っていきたいと考えております。
- なお、本日の評価委員会に先立って開催されました公立大学部会において、本件については審議済みであることを申し上げます。

### 議事① 北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標に対する意見について

#### 【舟橋委員長】

- それでは、事務局から説明願います。

#### 【事務局】

- 資料2-1をご覧ください。第2期中期目標につきましては、7月に開催しました公立大学部会において、素案の概要について説明させていただき、また、素案に対するご意見及び修正の方向性については、8月開催の公立大学部会において説明をさせていただいたところであります。
- この度、委員の皆様から頂いたご意見や、道議会における議論を踏まえ、中期目標の素案の修正を行いましたので、ご説明させていただきます。
- 最初に、数値指標の設定についてですが、素案の段階では、第1期の法人運営状況を踏まえ、自主自立的な運営をさらに推進することが重要であると考え、中期目標においては、法人の業務運営に関する取組の理念や基本的な方向性を示し、数値目標は設定しないこととしておりました。
- しかしながら、大学の自主自立的な運営を尊重しつつも、道がやはり一定の目標を設定し、法人により一層の努力を求めることが必要であること、また、道議会における議論等も踏まえて、「道の政策として推進すべき事項」、また、「大学運営の経営に関する事項」について、数値目標を設定しようとするものであります。
- 一つ目は、「地域への医師派遣に関する目標」についてであります。道政上の重要課題であります。地域における医師の確保について、更なる推進を図る必要があることから、目標としまして、「地域医療を支える公的医療機関への医師派遣件数を、平成24年度に比べおおむね100件増」とする具体的な数値目標を設定しようとするものでございます。
- 二つ目は、「財務内容に関する目標」についてであります。自己収入の確保や経費の効率的な執行により、着実に財務内容の改善に取り組むよう、「運営費交付金について、前年度に比べ1%縮減」とする数値目標を設定しようとするものでございます。
- 次に、項目の整理と文言の整理についてであります。資料2-2の「素案の修正」で、ご説明をさせていただきます。
- 素案から修正しました主なものとしましては、2ページの、2の「教育研究上の基本組織」についてであります。札幌医科大学の「学則」及び「組織規程」に規定する組織との整合性を図るため、医学部及び保健医療学部において設置している学科を新たに記載するとともに、平成20年に設置しました、医学部と保健医療学部の教養教育を担う「医療人育成センター」を記載することとしております。
- 次に、真ん中、1の「教育に関する目標」の(1)の「入学者の受入れに関する目標」についてであります。評価委員の皆さんから、入学者受入方針に記載されていない文言を、例示として使用するのを避けるべきとのご意見を踏まえ、素案では、学士課程、大学院課程及び専攻科課程毎に記載しておりましたが、3課程の統合を図り、「医学・医療の攻究と地域医療への貢献等を掲げる建学の精神」に修正することとしております。また、併せて、この他に文言の整理を行っております。
- 次に、今後の予定であります。本日、委員の皆様方から頂いた意見を踏まえ、中期目標(案)を策定し、今月下旬に開催が予定されております道議会に議案として提出することとし

ております。ご審議のほど、よろしく願いいたします。説明は以上でございます。

**【舟橋委員長】**

- 前段の公立大学部会でも、やはり地域の医師派遣、地域医療の確保が北海道の重要な課題であり、また札幌医大自身が地域医療への貢献を謳っているという関係から、数値目標を設定することは重要であるとの意見が出ました。
- また、財務内容についても、自立的な運営に必要な財務基盤を強化する上で、自己収入の増加や経費の削減を通じた運営費交付金の縮減が必要であることから、それをはっきりさせるためにも、数値目標を設定することは適当であるとの意見がございました。
- 評価をするに当たっては、数値目標があった方が評価しやすいということもありますが、この意見の他に何かご意見等がありますか。

**【石橋副委員長】**

- 資料2-2の2ページ目の「教育に関する目標」で、医学・医療の「攻究」という文言がありますが、このような文言は医学関係でも活用する表現なのですか。

**【事務局】**

- 札幌医科大学の「ポリシー」の中にもこのような表現を常日頃使っております。

**【舟橋委員長】**

- 他にご意見等はありませんか

《 意 見 等 な し 》

**【舟橋部会長】**

- 無ければ、先ほどの公立大学部会の意見を評価委員会の意見としたいと思います。

**議事② その他**

**【舟橋委員長】**

- それでは「その他」として、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

- 資料3をご覧ください。今後の評価委員会のスケジュールですが、明年2月上旬に第4回目の委員会の開催を予定しております。審議予定案件は3つありまして、1つ目は、本日も審議いただいた札幌医大の第2期中期目標が道議会で議決された後、札幌医大で策定することとなる第2期中期計画の審議となります。
- 2つ目は、札幌医大の第1期中期目標期間終了に伴う評価実施要領について、3つ目は、来年度実施される道総研の中期目標達成状況等評価実施要領についてご審議いただきます。説明は以上です。

**【舟橋委員長】**

- 全体を通じて何かご質問等はありませんか

《 質 問 等 な し 》

**【舟橋委員長】**

- ご質問等が無いようですので、事務局に進行をお渡しします。

## 閉 会

### 【事務局】

- 本日は、皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。ただ今のご審議で、札幌医大の中期目標の修正案につきましては、数値目標の設定については重要であるとのこと意見をいただきましたので、この修正案をもって、成案作成に向けて進めて参りたいと考えております。
- 今後、道庁内で文書的な確認を行った上で、11月下旬に開催の道議会に提案をさせていただきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。